

2021年（令和3年）活動報告

I. セミナー・シンポジウム等

・ CPAS Seminar

“Abraham Lincoln, Reconciliation, and the ‘Better Angels of Our Nature’”

講師：Brian Dirck (Professor of History, Anderson University)

司会：橋川健竜 (東京大学)

日時：2021年7月7日(水) 18:00～20:00

場所：Zoom ウェビナー

主催：CPAS

共催：東京大学グローバル地域研究機構 (IAGS)

・ CPAS Seminar, Globalizing American Studies

合評会「グローバル化する反米

——遠藤泰生編『反米 共生の代償か、闘争の胎動か』(東京大学出版会、2021年)をめぐって」

編者：遠藤 泰生 (関西国際大学)

評者：酒井 啓子 (千葉大学)

古矢 旬 (北海道大学・東京大学名誉教授)

逆井 聡人 (東京大学)

司会：中野 耕太郎 (東京大学)

日時：2021年9月18日(土) 14:00～17:00

場所：Zoom ウェビナー

主催：CPAS

共催：東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

東京大学グローバル地域研究機構 (IAGS)

・ CPAS Symposium

「高木八尺 その学問と社会活動

——CPAS 高木八尺デジタルアーカイブ公開に寄せて」

日時：2021年11月6日(土) 14:30～17:30

場所：Zoom ウェビナー

報告者：森山貴仁 (南山大学)

「高木八尺文庫のデジタル化について」

高光佳絵 (千葉大学)

「高木八尺と「太平洋問題調査会」

中嶋啓雄 (大阪大学)

「高木八尺と戦後の知的交流の再生——アメリカ研究との関連を中心に」

討論者：三牧聖子（高崎経済大学）

橋川健竜（東京大学）

司会：中野耕太郎（東京大学）

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター（CPAS）

共催：東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構（IAGS）

アメリカ研究振興会

II. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（B）
「中国の世界秩序観の歴史的変遷と現在」（代表：川島真）
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（C）
「現代アメリカにおける国家・市民関係の史的転換—1960～70年代の変容を中心に」（代表：中野耕太郎）
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・若手研究
「旧権威主義地方の全国民主制への統合—アメリカ合衆国深南部州における政党制度の変容」（代表：平松彩子）
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・研究活動スタート支援
「米国市民の国際貿易協定に対する反発——一般的信頼による貿易選好の形成」（代表：藤田将史）
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（C）
「トランプ政権期の米中関係におけるメディアの役割」（代表：市川絃子）

III. 出版活動・資料公開

- ・『アメリカ太平洋研究』第21号（2021年3月）
- ・遠藤泰生編著『反米——共生の代償か、闘争の胎動か』（アメリカ太平洋研究叢書）（東京大学出版会、2021年3月）
- ・CPAS第二次世界大戦期プロバガンダポスターコレクション公開（2021年8月）
- ・CPAS高木八尺デジタルアーカイブ公開（2021年11月）

IV. センター所属教員の2021年1月から12月までの研究活動

遠藤泰生（3月末退職）

[書籍]

- ・「反米——20世紀の宿痼」終章 踊る若者たちのアメリカを思いながら」遠藤泰生編著『反

米：共生の代償か、闘争の胎動か』(東京大学出版会、2021年3月)、1-34頁、301-309頁。

[論文]

- ・「駒場のアメリカ地域研究とアメリカ太平洋地域研究センター——一つの随想」『ODYSSEUS』(東京大学大学院地域文化研究専攻)、第25号、2021年3月、25-34頁。

[その他の執筆活動]

- ・「アメリカ地域文化研究を志して」『教養学部報』(東京大学教養学部)、第624号、2021年1月21日、3頁。
- ・「最上章吉文書の受け入れ——大戦開戦時の紐育の日々を綴る一級史料」『アメリカ研究振興会会報』、第82号、2021年2月、3頁。

川島真

[書籍]

- ・川島真・益尾知佐子・渡辺恒雄・相澤伸広『強権中国の野望』(中央公論ダイジェスト、2021年4月、電子書籍)。
- ・川島真・岸田真・中北浩爾・中嶋啓雄・中村元哉・橋本雄・松澤裕作・松田忍・黛秋津・山根徹也・加藤将・玉谷直子・角田展子・山本勝治『詳解 歴史総合』(東京書籍、2021年、全232頁)。
- ・川島真・岸田真・中北浩爾・中嶋啓雄・中村元哉・橋本雄・松澤裕作・松田忍・黛秋津・山根徹也・加藤将・玉谷直子・角田展子・山本勝治『新選 歴史総合』(東京書籍、2021年、全208頁)。
- ・波多野澄雄・赤城完爾・川島真・戸部良一・松元崇『決定版 大東亜戦争(上)』(新潮新書913、新潮社、2021年、全266頁)。
- ・戸部良一・赤城完爾・庄司潤一郎・川島真・波多野澄雄・兼原信克『決定版 大東亜戦争(下)』(新潮新書914、新潮社、2021年、全303頁)。
- ・川島真・池内恵編著『UP plus 新興国から見るアフターコロナの時代 米中の間に広がる世界』(東京大学出版会、2021年、全189頁)。
- ・川島真・清水麗・松田康博・楊永明著・高村繁・黄偉修『台日関係史(1945-2020)』(『日台関係史1945-2020増補版』の中国語訳、国立台湾大学出版中心、2021年、384頁)。

[学術論文]

- ・「中央アジアの国々の安全保障観——中国の視点——」(『安全保障研究』第3巻第3号、2021年9月、57-68頁)。
- ・「西太平洋の国際関係と台湾」(北岡伸一編『西太平洋連合のすすめ』東洋経済新報社、2021年、398-434頁)。
- ・「『和解』の観点から見た戦後日中・日台歴史問題 1945-2008」(『国際社会科学』70輯、近刊掲載予定)。
- ・“Historical Policy of the Xi Jinping Administration: Four Histories and ‘Ma Project’,” *Asia*

Pacific Review 28 no. 2, forthcoming.

- ・「中国留日同学会とその活動—『中国留日同学会 季刊』に見る—」(孫安石・大里浩秋編著『中国人留学生と近代日本』東方書店、近刊所収)。

[国内学会司会、ディスカッサント、講演・報告]

- ・日本現代中国学会関東部会2021年度第1回定例研究会「特別公開された外交記録から見る天安門事件と日中関係」(報告「日本外交記録にみる天安門事件と日中関係」、2021年3月21日)。
- ・アジア政経学会春季団体「自由論題1 中国の政治と政策決定」(司会兼ディスカッサント、6月19日)。
- ・第27回アジア政経学会研究会(ディスカッサント、2021年9月18日)。
- ・国際政治学会「E-1 日本外交史・東アジア国際関係史合同分科会」(ディスカッサント、10月31日)。
- ・アジア政経学会秋季大会「自由論題2」(司会兼ディスカッサント、11月20日)。

[国際会議司会、講演・報告]

- ・(報告) “China’s Security Issues: New Coast Guard Law and Pratas Island,” IIPS-Heritage Foundation Meeting on China, 9 Feb., 2021.
- ・(ディスカッサント) “Session III: The North Korea Question & Regional Stability,” EAST ASIA WISEMEN’S ROUNDTABLE, First Roundtable (Closed), Institute of International Affairs (IIA), Seoul National University, February 25, 2021.
- ・(報告) “How could the two regions cooperate effectively when it comes to authoritarian regimes?”, SIDE SESSION: Roundtable #2: EU and Asian democracies’ cooperation in resilience-building against authoritarian regimes, Stratcom Summit, Prague, Jun 8-9, 2021.
- ・(報告) “Japan’s concern about Taiwan straight”, “A Possible Armed Conflict in the Taiwan Strait”, ROC-US-Japan Online Forum 2021, KMT, June 16, 2021.
- ・(報告) “Sino-Japanese Relations under Sino-US “competitive” relations”, SPF-Valdai (Valdai Club Russia) Joint conference, July 8th 2021.
- ・(ディスカッサント) Roundtable, Conflicts, Geography, and Pax Americana in Cold War East Asia, University of Cambridge, July 26-27th 2021.
- ・(報告)「中華民国外交檔案に見える万宝山事件、朝鮮華僑排斥事件」(万宝山事件・朝鮮華僑排斥事件 90周年国際セミナー、仁川大学中国学術院、2021年8月5日)。
- ・(報告) “Between Propaganda and Communication: the Role of Radio in the Sino-Japanese War”, Hist11: Competing narratives on Sino-Japanese relations, 1915-1945: local, national, and international exchanges, European Association of Japanese Studies, August 27th, 2021.
- ・(報告) “Four histories(四史): Xi administration’s new history politics”, Sasagawa-IFAT (Institute for Foreign Association and Trade, Hungary) Forum, September 3rd, 2021.
- ・(報告)「以區域研究為基礎的國際關係理解之必要性：台灣的日本研究」(台湾日本研究院 2021年国際論壇、「地縁科技下の東亜外交情勢與日本研究」、2021年9月10日)。
- ・(ディスカッサント) Understanding Competing Regionalism and Re-/Pro-active Diplomacy

in Asia, University of Warsaw, Sep.27th, 2021.

- ・(報告)「カブール危機と日米中関係」(日本国際フォーラム公開ウェビナー、2021年9月29日)。
- ・(報告)“How Strong is the Taiwan-US-Japan Triangle?” IFRI Center for Asian Studies Fall Webinar 2021, Sept. 30, 2021.
- ・(報告)“China and Taiwan’s Application for CPTPP and Japanese stance for them”, Session Two: The economic, foreign policy and strategic dimensions of China's interest in the Comprehensive and Progressive Agreement for Trans-Pacific Partnership membership and its prospects, Australia – Indonesia – Japan Virtual Trilateral Dialogue, Oct. 13, 2021.
- ・(パネリスト)「第3セッション バイデン政権のインド太平洋戦略」(富士山会合、2021年10月23日)。
- ・(報告・司会)「日中両国の国民感情の変化と背景をどう読むか」第三セッション(ジャーナリズム)「閉幕式」(【日中共同世論調査に関するセッション】、東京-北京フォーラム、2021年10月25日)。
- ・(報告)“Recent Sino-Japanese Relations and Difficulties for Cooperation,” (Asia-China Dialogue 2021: Toward A Peaceful and Brighter Future, 現代中国学会、Seoul National University Northeast Asia Center, Nov. 4, 2021).
- ・(報告)“Recent Sino-Japanese Relations and Difficulties between Them” (「日本新政府発足以降の日・米・韓協力」、韓国世宗研究所、2021年11月10日)。
- ・(主題発言)「美日同盟影響下の東北亜地区安全」(“美国的東北亜同盟体系強化与地区安全”研討会、吉林大学東北亜研究中心、2021年11月15日)。
- ・(基調講演)「探索“新時代”的中日关系:課題与展望」(復旦大学日本研究中心第31届国際学術研討会、2021年11月21日)。
- ・(報告)「岸田政権の対中政策」(ソウル大学日本研究所、ワークショップ「衆議院選挙と岸田政権」、2021年11月24日)。

[書評]

- ・「松本はる香編著『〈米中新冷戦〉と中国外交：北東アジアのパワーポリティクス』(『中国研究月報』75-4、2021年4月、33-38頁)。
- ・「麻田雅文『蔣介石の書簡外交：日中戦争もう一つの戦い 上下』(『公明新聞』2021年5月17日)。
- ・「二つの『冷戦』と香港 崩れた一国二制度の前提」(倉田徹『香港政治危機』東京大学出版会、2021年への書評、『図書新聞』一面、2021年12月11日)。
- ・「一国二制度はなぜ崩れたか」(倉田徹『香港政治危機』東京大学出版会、2021年への書評、『日本経済新聞』2021年11月27日)。

[社会活動]

- ・日本学術会議連携会員
- ・中曽根世界平和研究所研究本部長代行
- ・日本国際フォーラム上席研究員

- ・内閣府公文書管理委員会委員
- ・日本外務省外交記録公開推進委員会委員

[新聞記名記事・インタビュー]

- ・「日美聯合声明中の台湾海峡問題是否具有划時代意義？」(『聯合早報』2021年6月9日)。
 - ・“Why is Japan Hesitant to Improve Relations with South Korea?”, The Diplomat, April 9th.
 - ・「(識者の見方) 台湾へは抑制的 反発を避けたか」(『日本経済新聞』2021年11月13日)。
- ほか多数

その他、講演、講座、会議主催・報告・討論、論壇誌掲載、新聞等への掲載、テレビ出演等、多数省略。

瀬地山角 (3月末出向終了)

なし

中野耕太郎

[学会活動等]

- ・討論：「シンポジウム『グローバル化の進行と地域研究の未来』へのコメント」、南山大学国際地域文化研究科FDシンポジウム、Zoomミーティング、2021年1月22日。
- ・討論：「丸山実里「第一次世界大戦期アメリカにおける『敵性外国人登録』とドイツ系—カンザス州を事例に」へのコメント」日本アメリカ史学会第50回例会 修士論文報告会、Zoomウェビナー、2021年4月24日。
- ・講演(招待)：「著者による講演」、合評会 岩波新書<シリーズ アメリカ合衆国史> 第3巻『20世紀アメリカの夢—世紀転換期から1970年代』、南山大学アメリカ研究センター、Zoomウェビナー、2021年6月26日。
- ・報告(招待)「ディスインフォメーション——分裂するアメリカの過去・現在・未来」京都大学人文科学研究所 共同研究班「21世紀の人文科学」、Zoomミーティング、2021年7月31日。
- ・司会：「合評会：グローバル化する反米——遠藤泰生編『反米 共生の代償か、闘争の胎動か』(東京大学出版会、2021年)をめぐって」. CPAS Seminar, Globalizing American Studies, Zoomウェビナー、2021年9月18日。
- ・討論：「戦後反動再考——新しい『冷戦』論とマッカーシズム」、益田肇『人びとのなかの冷戦世界——想像が現実となるとき』合評会、冷戦研究会第58回例会、Zoomミーティング、2021年10月23日。
- ・司会：「高木八尺 その学問と社会活動——CPAS 高木八尺デジタルアーカイブ公開に寄せて」、CPAS 公開シンポジウム、Zoomウェビナー、2021年11月6日。
- ・『西洋史学』(日本西洋史学会) 編集主任幹事、運営評議員
- ・『パブリックヒストリー』編集委員

- ・『アメリカ史評論』(関西アメリカ史研究会) 編集委員
- ・『20世紀研究』編集委員
- ・アメリカ学会 理事
- ・史学研究会 評議員

[その他の執筆]

- ・「<時に沿って> パンデミックの年に着任して」『教養学部報』第624号(2021年1月5日)
- ・「コメント 歴史のなかの分断・分極化——2020年のアメリカを考える」(特集「分断のアメリカを展望する」)、『アメリカ太平洋研究』Vol. 21(2021年3月)、43-53頁。
- ・「高木八尺文庫と米国の戦争ポスター」(<デジタル万華鏡> 第26回)、『学内広報』(東京大学) . 1553号(2021年12月24日)
- ・「ミレニアル・Z世代が支持、『大きな政府』の米国史——東京大学・中野教授に聞くアメリカ史(前編)」(インタビュー記事)『東洋経済オンライン』(2021年12月28日)
- ・「左傾化する若者『ジェネレーションレフト』の祖先——東京大学・中野教授に聞くアメリカ史(後編)」(インタビュー記事)『東洋経済オンライン』(2021年12月30日)

橋川健竜

[執筆活動]

- ・橋川健竜「特集に寄せて」『アメリカ太平洋研究』21(2021年3月): 5-6.
- ・Hashikawa, Kenryu. “Editor’s Introduction.” *The Japanese Journal of American Studies* 32 (2021): 1-5.
- ・橋川健竜「新時代の地域研究とグローバル・スタディーズのために——グローバル地域研究機構」駒場70年史編集委員会編『駒場の70年 1949-2020 法人化以降の大学像を求めて』(東京大学出版会、2021年)、251-252.

[学会報告]

- ・Hashikawa, Kenryu. “Developing Australia-Japan Connection from UTokyo: The Visiting Professor Program at the University of Tokyo.” Biennial Conference. International Australian Studies Association (InASA). Online. February 9, 2021.

[学会活動]

- ・日本アメリカ史学会 運営副代表(2021年9月30日まで)
- ・アメリカ学会 常務理事、*The Japanese Journal of American Studies* 編集委員長
- ・初期アメリカ学会 理事

平松彩子 (9月着任)

[書籍]

- ・平松彩子「連邦議会——福祉国家と政党の変容」『アメリカ政治の地殻変動 分極化の行方』(第3章、久保文明、中山俊宏、山岸敬和、梅川健 編著) pp. 43-56、東京大学出版会、2021年。

[研究報告]

- ・平松彩子「旧権威主義地方の統合：投票権法成立後の米国深南部三州における有権者登録の執行と 民主党制度改革」、慶應比較政治セミナー、慶應義塾大学法学部政治学科地域研究・比較政治グループ、慶應義塾大学三田キャンパス、2021年11月13日(土)。

[学会活動]

- ・司会：「ポストコロナの日米関係と世界の展望：第2次世界大戦からポストコロナへ」、南山大学アメリカ研究センター、Zoomミーティング、2021年10月23日。
- ・日本比較政治学会 企画委員

市川紘子

なし

森山貴仁 (8月末退職)

[学術論文]

- ・「サンベルトの青い郊外——トランプ政権期におけるカリフォルニア州オレンジ郡」『アメリカ太平洋研究』第21号(2021年3月)、21-31頁。

藤田将史

[学術論文]

- ・「多国間主義と二国間主義の間——米国による国際収支支援の変遷についての実証研究」『国際関係論研究』第35号(2021年3月)、19-39頁。
- ・「米国のIMF利用における国内的意図——多国間組織への委任の批判回避機能」『国際政治』第204号(2021年3月)、49-65頁。

[学会活動等]

- ・日本国際政治学会第14回奨励賞(受賞論文：「米国のIMF利用における国内的意図——多国間組織への委任の批判回避機能」『国際政治』第204号(2021年3月)、49-65頁。)
- ・討論：富田晃正「グローバル・バリューチェーン時代の通商政策——日本の繊維産業を事例に」へのコメント、第73回駒場国際政治ワークショップ、Zoomミーティング、2021年12月2日。